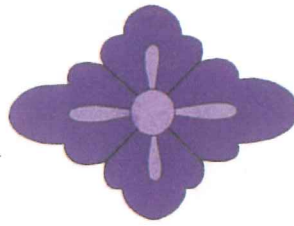




菩提樹

佛さまに育てられる年輪

第17号 平成31年4月発行



編集・発行
正法寺

山口市江崎2710

TEL

083-989-2213

FAX

083-989-5339

「ただ仏恩の深きことを念うて、
人倫の嘲りを恥ぢず」
〔親鸞聖人「教行信証」後序より〕



写真:平成30年11月12日に上山した第24回正法寺念仏奉仕団の記念写真。中央は専如門主。

今年の表紙のお言葉は、親鸞聖人の主著である「教行信証」のお言葉です。このお言葉は、この「教行信証」というお書物を著された、親鸞聖人ご自身の思いを述べられたものです。

「教行信証」は、当時、法然聖人が説かれたお念仏の救いが、仏教の道理から外れた外道の教えだとして批判が渦巻く中、お念仏の救いの真实性を証明していかれる目的で著されたものです。お念仏のみ教えが、外道であるという意見は、当時の仏教界において圧倒的多数を占めていました。当時、その仏教界の最高峰にあった中心的な存在が、比叡山延暦寺です。親鸞聖人は、その最高峰であった比叡山において天台座主慈円を師匠とし、二十年にも及ぶ学問と修行を積んだ、いわば仏教界のエリートの一人でした。そんなエリートが、突然、比叡山での地位を捨て、外道とみなされていた法然聖人の弟子になっていったのです。おそらく、当時の仏教界において、親鸞聖人の行動を褒める人は一人もいなかったことでしょう。

そんな中で、自分の書くものが、当時の名だたる学僧達の嘲りの対象になることは容易に想像できたはずですが、しかし、その人々からの嘲りを恥ぢずかしいと思わないと明確におっしゃるので、その理由は、仏恩の深きことを念うからだと言われます。親鸞聖人は、世俗の人々の評価を一切顧みることなく、ただひとえに仏様からいただいた深いご恩を仰いで、その仏様のお心を明らかにすることだけを念じておられたことが分かります。人の世の闇を照らす光となり、永遠に人々の心を打ち続けるようなお言葉は、人々の評価を問題とせず、ひたすら清らかな仏様と語り続ける営みの中で紡ぎ出されていくものなのでしょう。

平成の時代が終わり、新しい時代が幕を開けようとしています。飛鳥時代の大化から始まった元号は、平成で27を数えるそうです。過ぎ去ってきた時代の中で、人々の価値観も様々に姿を変えてきました。人の世は、正しいことが時代と共に変化していく恐ろしさを秘めています。人に評価された事柄も、また無常なのです。人の眼ではなく、深い仏様の眼差しに出会う時、人は決して変わることはない永遠の輝きを味わうことができるでしょう。そして、その味わいの中に、どんな世の中であっても、恵まれたかけがえのない人生を、本当にありがたいものとして生き抜く力が恵まれていくのでしょうか。

新しい時代を迎えるにあたり、時代を貫いて私に響いてくださる本物の言葉に出遇わせていただく喜びを、改めて大切に味わわせていただきます。

(正法寺住職)

第24回正法寺念仏奉仕団

愛山護法の想いを深めて

平成三十年十二月十三日 二十三日

嘉川上 原田輝子

昨年11月12日・13日の両日、念仏奉仕団にお参りさせていただきました。初めての参加で不安もありましたが、素晴らしい体験ができました。感謝です。

私も後期高齢者に突入いたしました。旅には不安もあります。少しでも若いうちに行動しておけばよかったと思っております。

全国から参加された奉仕団の皆様で、ご本山があったという間に美しく整美されました。感動です。最後には御門主様との記念撮影。少しばかりですが、観光もさせていただきました。楽しい思い出になりました。

今後、御門徒皆様が振るって参加されますことを願っています。

後寺内 徳田正則

この度は、はじめて念仏奉仕団に参加しました。まず、大谷本廟に参拝し、その後、宿舎にて着替えて準備をして本願寺へ。結団式とオリエンテーションの後、本願寺御影堂の拭き掃除開始。二百人ものが、一斉に拭き掃除をする様子は、圧巻なものでした。その後、御門主様との記念撮影があり、他の奉仕団に比べ、御門主様と御院家様とが、眼で物を言ったり、親しい会話が素晴らしく誇らしく思いました。

二日目は、六時からお晨朝参拝。お晨朝参拝の後、普段は入ることのできない結界の中において、原則正座のものすごく厳肅な帰敬式を受けました。あいにく御門主様はご不在でしたが、釋致清という法名を賜りました。

親鸞聖人がご安置されている御影堂の清掃奉仕の様子。一枚一枚、畳をきれいに拭き掃除いたしました。



溝畑 藤岡保

念仏奉仕団への参加は、今回で三回目になります。ご本山には仏具大会でも何度も参拝しておりますが、御影堂と阿弥陀堂にお参りすると、身の引き締まる思いで声をあげてお念仏を申します。

この日は、全国各地から10団体が奉仕に参加されておりました。各団の自己紹介の時、当団では、久保総代会長さんが、山口教区には629ヶ寺の浄土真宗本願寺派のお寺があることを紹介され、全国の皆さんが驚かれました。

奉仕作業は、御影堂の外陣の拭き掃除を終え、続いて飛雲閣付近の清掃で、小生は、空池に入って草引きをしました。今までにない労働でしたが、きれいになり気持ちの良い作業でした。

最後に御門主様を中心に記念撮影。よい思い出になりました。



国宝飛雲閣が修復工事中で、お庭の池の水が抜かれて、草が生え放題でした。



わずか30分程度で、生え放題だった草が、きれいになりました。

宿舎で朝食の後、飛雲閣の庭の掃き掃除、池の草取りをしました。池の水が抜いてあり、目も当てられない大草も、二百人の人には勝てず、たちまち綺麗になりました。

その後、金閣寺へ。大半が外国人で、さすが観光地京都だと思いました。次の京都御所は、臨時休業だったので、急遽三十三間堂を参拝して帰路につきました。今回は、節目の二十五回目なので、必ず参加したいと思っています。



閉会式の様子。ご本山より感謝状をいただきました。



奉仕作業を終えてからの昼食の様子。充実感で笑みがこぼれます。



御門主様のお言葉をいただく直前の様子です。御影堂全体に和やかな雰囲気漂います。

玄珍 白井康子

昨年は、七月に念願だった築地本願寺参拝、そして、初めての念仏奉仕団参加と、ご縁の多い年でした。

久しぶりに大谷本廟で手を合わせ、ご本山で全国各地より参加された御同朋の方々との清掃、書院等拝観後の国宝鶴の間でのお抹茶接待、御影堂・阿弥陀堂でのお晨朝参拝は、とても感慨深いものでした。記念撮影の時、御門主様と御院家様が、一言二言、こやかに言葉を交わされていて、ほほえましく思いました。

坊守様のいつものお心づかい、送り出してくれた家族のおかげで新幹線の中から、ずつととても楽しい旅でした。感謝です。次回は、ご一緒してみたいです。



大谷本廟への納骨の様子。親鸞聖人をお慕いし、聖人のお傍に分骨させていただくことを喜びとする想いが、綿々と受け継がれています。



二日目の観光は、金閣寺を拝観しました。紅葉もきれいでした。



紅葉のきれいな中でお庭の掃き掃除もさせていただきました。

念仏奉仕団旅程

1日目
午前7時8分新山口駅出発・・・午前10時30分大谷本廟参拝・・・午後2時御影堂にて開会式・・・開会式後約40分間清掃奉仕・・・御門主様との記念撮影・・・午後4時ご法話をお聴聞・・・午後4時30分1日目終了・・・宿舎にて懇親会

2日目
午前6時お晨朝参拝・帰敬式・・・午前9時清掃奉仕・・・午前10時30分国宝鶴の間にて抹茶接待・・・国宝だらけの本願寺書院拝観・・・11時30分閉会式・・・金閣寺・三十三間堂拝観・・・午後7時57分新山口駅到着

山口南組仏教婦人大会お引き受け

平成三十年九月十日(月)
御講師/本願寺派布教使・大阪市光昭寺住職

若林 真人 師

私達の西本願寺をご本山とする浄土真宗本願寺派という教団は、全国を国の行政区のように区分けして、その中で組織的な活動を展開しています。国の

口南組仏教婦人会連盟の大会を13ヶ寺の会場持ち回りで開催しています。13年に一度巡ってくる大きな会場お引き受けのご縁となります。

現在、山口南組仏教婦人会連盟の会長は、正法寺仏教婦人会の伊藤美星さんが務めておられます。会長所属寺院によるお引き受けとあつて、正法寺仏教婦人会会員一同、心を込めてお迎えをいたしました。御講師は、大阪市より若林真人先生をお招きし、大変有難い和やかなひと時となりました。

の都道府県にあたるものを教区といい、全国に31の教区があります。そして、その教区の中に国の市町村にあたる組といわれる区分があります。正法寺が所属している区分は、山口教区山口南組です。山口教区は、山口県全体です。浄土真宗本願寺派のお寺が629ヶ寺あります。山口南組は、防府の台道から山口市の秋穂・鑄銭司・陶・小郡・嘉川に至るまでの範囲を一つに区分けされているものです。14ヶ寺のお寺で組織的な様々な活動を展開しています。

山口南組仏教婦人会連盟も、山口南組の組織的な活動の一つで、14ヶ寺中13ヶ寺がこの活動に参加しています。毎年9月に山



▲仏教壮年会も駐車場係として、お手伝いいただきました。



▲本堂いっぱいの参詣者です。御講師の若林先生のご法話に笑みがこぼれます。



▲開会式の様子です。各お寺のご住職方もご出席くださっています。



▲年末の仏具磨きの様子です。本堂お内陣が、毎年、仏教婦人会のご奉仕によって輝きを取り戻します。有り難いことです。



▲お念仏の輪が広がっていくことを念じて、近隣の老人施設へ赴き、奉仕作業をさせていただきます。

正法寺仏教婦人会 活動紹介

正法寺仏教婦人会は、平成26年に結成90周年を迎えました。高齢化と過疎化の波が押し寄せていますが、100周年に向けて活発な活動をしています。

コール芬陀利華 ～仏様のお慈悲を歌に響かせて～

正法寺のコーラスグループコール芬陀利華は、月に2回、第2・第4土曜日の16時から17時までの1時間、正法寺本堂で練習をしています。歌の響きの中に、仏様のお慈悲を味わい、仲間と共に本当に和やかで温かいひと時を過ごしています。メンバーは随時募集中です。見学だけでも大丈夫です。いつでもお待ちしております。



毎年7月に山口県内の浄土真宗本願寺派のお寺のコーラスグループが集まり、仏教讃歌の集いを開催しています。昨年は、山陽小野田市の不二輸送機ホールで開催されました。青い衣装で統一し、日曜学校の子も達や日曜学校を卒業した中学生も一緒に出演させていただきました。



男性メンバーも募集中です。出演前、男性メンバーと中学生がトランプをして和んでいます。



出演後、みんなで記念写真です。



昨年は、20回の記念大会ということもあり、ジブリ映画『かぐや姫の物語』の主題歌を歌われた歌手の二階堂和美さんが、ご一緒に出演くださいました。コール芬陀利華の子ども達と一緒に仏教讃歌を歌って下さいました。



藤井 秀治 氏
担当地区 中野嘉川上高見
向原小郡



金光 雄一 氏
担当地区 今井蒲畑玄珍
原条能楽



監査
泉 専六 氏
担当地区 北ノ江東令津



監査
徳原 久 氏
担当地区 小野各地区(厚東)



会計補佐
岩脇 利明 氏
担当地区 深溝唐樋寄江渚
新地佐山鳩岡阿知須巨



会計
松本 巖 氏
担当地区 前寺内



総代副会長
有田 裕 氏
担当地区 後寺内上今津
今津ケ丘



総代会長
久保 實 氏
担当地区 高根各地区
幸の橋上渡り

総代紹介

正法寺仏教壮年会 ～おいでませ仏壮活動～

平成28年に結成50周年を迎えた仏教壮年会、新しい会員も迎えて、ますます活発な活動を展開しています。念仏の喜ぶ仲間の輪を広げるために、一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。



▲年に2回、6月と11月に懇親会を開催しています。6月は小郡のお店で、11月は、お寺が会場です。写真は、昨年11月のお寺での懇親会の様子です。



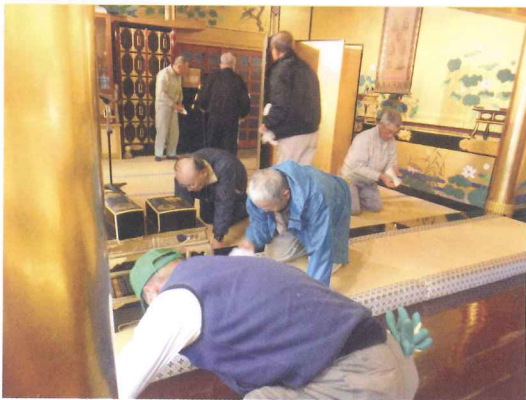
▲30歳代から50歳前半の方々に活動している若仏社会も元気です。昨年は、初めて若仏社会単独で年末に奉仕作業を行いました。納骨堂の外壁をきれいにしました。



▲年末に行われる奉仕作業の様子です。上は、本堂裏の木の伐採作業の様子です。
▼下は、本堂のお内陣の拭き掃除の様子です。



▲奉仕作業の後は、若仏社会だけで忘年会を開きました。夜が更けるまで、あれやこれや話が続きました。



ご本山本願寺が毎月発行している全国雑誌『大乘』で、正法寺仏教壮年会の活動が紹介されました。正法寺のホームページを見た『大乘』の編集員から取材依頼があり、昨年12月14日(金)に行われた奉仕作業の日に取材を受けました。正法寺仏教壮年会の活動が、全国の仏壮会員の励みになっています。ますます活動の輪を広げていきましょう。

本願寺の全国雑誌『大乘』で紹介



正法寺仏教壮年会の記事が掲載されている『大乘』は、本堂入り口に置いてあります。ご自由にご覧ください。

山口南組児童念仏奉仕団第50回記念開催に向けて

毎年、山口南組主催で開催されている児童念仏奉仕団が、今年50回目の記念開催を迎えます。児童念仏奉仕団は、小学4年生～小学6年生を対象に、夏休みの二日間、京都のご本山本願寺へ参拝し、清掃奉仕をさせていただくものです。50年もの間、毎年絶え間なく実施してきた団体は、全国でも数少なく、今年度は、ご本山において表彰される予定です。山口南組では50回を記念して、より多くの子ども達にご縁に遇っていただくことを目的に、一人当たり1万円の助成金の支出を決定いたしました。京都での行程は、本願寺の清掃奉仕だけでなく、京都水族館の見学や太秦映画村での自由時間など、夏休みの思い出になるお楽しみもいっぱいです。

夏休みに向けてお子様やお孫様へのお声掛けをよろしく願っています。正法寺日曜学校を通しての申し込みとなります。日曜学校への入校のお誘いも、同時にお願いいたします。



▲楽しい夕食のひと時。笑いが止まりません。



▲大きな本堂で大きな声でお勤めをします。



▲親鸞聖人がご安置されている御影堂の量441枚を全国から参拝した子ども達が拭き上げます。

第50回山口南組児童念仏奉仕団記念開催

<p>日程 2019年8月1日(木)・2日(金)</p> <p>参加費 5,000円</p> <p>対象 小学4年生～小学6年生 (正法寺日曜学校登録児童に限る)</p>	<p>行程 国宝の本願寺をはじめ、京都水族館、太秦映画村への旅程を計画しています。また、1日目の夜には、本願寺において開催される盆踊り大会にも参加予定です。本願寺の盆踊りは、京都でも盛大で有名です。</p>
--	--

正法寺日曜学校紹介

正法寺日曜学校に参加して、仏様や親鸞様のことを一緒に学びませんか。毎月第二日曜日の午前九時から開催しています。正法寺門徒以外の子ども達も、たくさん参加しています。御門徒の方も、負けずにたくさん参加しましょう。



毎回、坊守が楽しいゲームを企画します。異年齢の子ども達が、仲良く一つになって遊ぶ姿は、日曜学校ならではの温かい光景です。



住職から仏様のお話しを聞きます。お母さんやお父さんも一緒に聞いてくださっています。

正法寺日曜学校生は、みんな笑顔いっぱいです。今年度もたくさんの御参加をお待ちしています。



正法寺仏教青年会

仏教青年会は、前住職時代には、活発に活動しておりましたが、時代の変化と共に、若い世代の方が集まりにくくなり、実質休止状態が続いていました。

しかし、この度、新発意が中学生になったことをご縁に、日曜学校で育った中高生を中心に、お寺に集まる活動が始まりました。今は年二回程度の活動ですが、少しずつ活動の幅も広げていきたいと思っています。



日曜学校サマースクールのお化け屋敷の様子。中学生が準備してくれました。



日曜学校のサマースクール。高校生が一生懸命、小学生と遊んでくれます。



中高生だけで、御正忌報恩講のお齋の席についでくれました。



今年の御正忌報恩講の夜座に中高生がお参りに来てくれました。



穴だらけで雨樋の役割をはたしていませんでした。



銅製のとても綺麗な雨樋につけ代わりました。内部がステンレスになっており、もう穴が開くことはありません。

本堂の雨樋の修復が完了

前住職時代からの懸案事項だった本堂の雨樋の修復が、この度完了しました。本堂の建築時から60年以上経過しており、酸性雨によって全体的に痛みが激しく、大きな穴が開いている状態でした。修復費用の2,698,200円は、永代経懇志より支出させていただきました。

編集委員

久保 実
井本 由子
泉 専六
高井 道世

編集後記

今回は、第24回正法寺念仏奉仕団を中心に編集しました。昨年度は、西日本豪雨をはじめ、北海道や大阪の地震等、多くの災害に見舞われました。諸行無常の世の中にあって、お念仏に生かされた生活をしたと願っております。

寺族あるはむ



長男法響(かずなり)は、川西中学校の2年生です。軟式テニス部と、有志合唱部で頑張っています。長女如恵(ゆきえ)は、興進小学校の6年生です。陸上クラブに入り、元気に走っています。

正法寺ホームページ <http://www.shouhouji.com/>

「山口市正法寺」で検索して下さい。

毎月更新しています。過去の菩提樹もすべて閲覧できます。